

戯曲を書くにあたって 必要事項

必ず必要なものは◎、あった方がいいものは○で示しています。

◎上演作品タイトル（上演時間も記入するとよい）

例：「のびた二つの影」（25分）

◎上演団体（学校）名（ふりがな付）

例：○○市立しりつ○○中学校演劇同好会
ちゅうがっこうえんげきどうこうかい

◎作者の氏名（ふりがな付、ペンネームでも可とするが、その場合、本名も明記すること）

例：上江洲朝男
うえずあさお

◎作品のあらすじ（1ページで収まるようにする）

◎登場人物名（年齢や性格人物像などもあるとよい）

例：スバル……中学3年生。サッカー部キャプテン。好奇心旺盛、言いたいことはズバズバいうタイプ。涙もろい一面もある。

◎戯曲の本文（ト書きとセリフ）

○配役・キャスト（決まっていれば、登場人物名の下に書くとよい）

例：スバル……上江洲朝男

○スタッフ（必要な照明や音響、舞台転換要員の人数を書いておくとうい）

例：照明……琉球太郎
音響……沖縄花子

○団体代表者氏名（ふりがな付、職名や連絡先など）

○幕や場ごとの舞台配置図

上部を50mm程度空ける。

ト書きは3マス程度空けて書く

ト書きは時や場所、状況、様子がわかるように書き出すとよい。

□□□ 1972年夏。セミの鳴き声が聞こえる沖縄のとある中学校の教室。隆之は学年のボスと言われている和人とその子分たちを囲まれ、詰め寄られている。

さっきのこと謝れよ。

……

おい、聞いてんのか？

ふざけやがって

和人に、恥かせたんだぞ、わかっているのか？

……俺は間違っていない。謝るのは俺じゃない、和人の方だ。

（憲太が殴りかかる。寸前で、夢乃介が腕をつかんで止める）なんだって？和人に謝れだって？お前自分で何を言っているのかわかっているのか。

とにかく、そこをどいてくれ。

誰にモノ言ってるんだよ。

ちゃんとお願いしろよ。

和人が廊下から教室に入ると、空気が一変する。そわそわする夢乃介たち。

（みんなの様子を察して、少し笑いながら）どいてやれよ、夢。え？（和人と隆之とを交互に見る）……わ、わかったよ。（隆之に道を空けて）さっさと行けよ。

隆之が教室から出るや否や高笑いする和人。夢乃介たちはあつげにとられて、互いに目配せをする。溶暗。

和人
夢乃介

隆之
忠司
憲太

夢乃介
隆之
夢乃介
憲太
忠司
隆之
夢乃介